

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	21213
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 情報科学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス
2. 科目名	データサイエンスとインフォマティクスからなる情報科学		
	学問分野	番号	名称
3. 担当教員	向谷 博明 先進理工系科学研究科 他		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和2年 8月 18日 (火) ~ 令和2年 8月 19日 (水) 13時00分 ~ 15時00分 (60分×4回)		
個別開講日	1回目 8/18	2回目 8/19	3回目 /
	4回目 /	5回目 /	6回目 /
7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /
11回目 /	12回目 /		
5. 募集定員	約100人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>データから価値を創造するデータサイエンス、そしてデータを大量にかつ効率的に処理するインフォマティクス。膨大なデータが溢れる現在、もっとも注目されているこの2つの科学をカリキュラムの柱とした情報科学部が平成30年4月広島大学に開設されました。</p> <p>本講座では、情報科学部で実施される講義、および研究の一部を担当教員が分かりやすく解説します。</p> <p>8月18日 (火) 13:00~あらゆるコミュニケーションを支えるインターネット (相原) 「SNS や電子メールなど人と人のコミュニケーション、カメラやセンサーなどモノのデータ通信、AIが解析するためビッグデータへのアクセス、それらすべてを支えるインターネットのしくみとその大切さを紹介します。」 14:00~個別化医療に向けた統計解析 (Park) 「現在、我々が直面している人口減少・超高齢化と言う大きな課題を解決するためには、データ科学に基づくヘルスケアや個別化医療は必修・不可欠です。本講義では、患者に最適化された治療法選択へのエビデンス提供に向けた「患者個人の特有な遺伝子発現制御関係の探索する統計モデリング技術」を紹介します。」</p> <p>8月19日 (水) 13:00~情報科学から人の学びをデザインする (平嶋) 「人の学びを情報科学から考えると、従来とは違った学び方をデザインすることができます。情報科学に基づいてデザインされ、情報工学によって現実化され実践されているいくつかの新しい学びの形について紹介します。」 14:00~計算機の処理を体感するには (北須賀) 「大量のデータを高速に扱うことが得意な計算機 (コンピュータ) ですが、その内部で行われている処理は単純です。計算機の処理を模擬する方法を説明し、プログラミングにつながる基本的な考え方を紹介します。」</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり・ <input checked="" type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 ( 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月10日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月11日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと この講座は、8月18日・19日開催予定の広島大学オープンキャンパスに併せて行います。2日間にわたり60分×4回を1講座として開催します。 高等学校の先生方の参観も歓迎します。参観に関する事前連絡方法は、詳細が決定しだい広島大学高大接続・入学センターのホームページへ掲載します。		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/→広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。